省

【4年】 9画

音 セイ・ショウ
訓 かえりみる・はぶく

なりたち 少と目との会意形声字。目にする物を少なくするという意味の字で、"はぶく"ことを表したもの。省く時には、注意して"よく見・よく考える"ので、"かえりみる"意味に用いられる。

いみとじゅくご

▼はぶく。
省略…あまり重要でないものを省いて簡単にすること。

▼かえりみる。
反省…自分に何か悪い所が無かったかと、ふり返ってよく考えること。
自省…自分のことを反省すること。
内省…自分の心の中や行動をふり返ってよく考えること。
用例 内省的な態度。(外部を批判するより、自分を反省する態度が強いこと。)

▼安否をたずねる。
帰省…(両親の安否をたずねるために)故郷に帰ること。
例 帰省列車

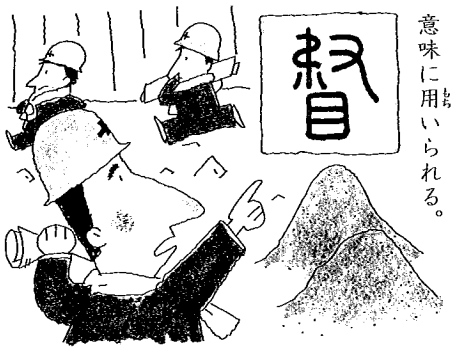
▼役所。
省令…省(文部省・大蔵省など国の行政機関)の大臣が出す命令。

省督

督

【6年】 13画

音 トク



なりたち 菽(豆)の本字の叔と目との会意形声字。小さな豆をえり分けるということで、"気を使って見る"という意味の字。転じて、"とりしまる"意味に用いられる。

いみとじゅくご

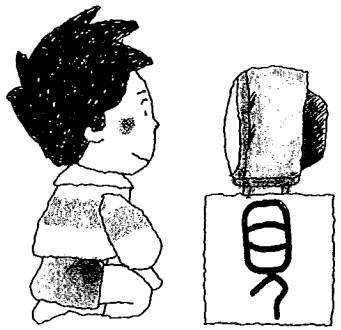
▼とりしまる。
監督…人の上に立ち、よく見て取り締まること。また取り締まる人。用例 野球の監督。
督励…取り締まったり、励ましたりすること。用例 部員を督励する。
家督…家の中を取り締まること。また、その役目の人。(昔は父親から長男にうけつがれた。)例 家督相続
総督…植民地の政治や軍事をすべて取り締まること。また、その役目の人。例 インド総督

▼うながす。
督促…約束通り借金を返したり、税金を納めたり、また、仕事をするように促すこと。
例 督促状
よみかた 提督

見

【1年】 7画

音 ケン
訓 みる・みえる・みせる



なりたち 人の形をかたどった儿(人脚)と目との会意字。人は目で"みる"ので、人と目とで"みる"という意味を表した。人における目の働きを表したもので、"みえる・みせる"という使い方もある。

いみとじゅくご

▼みる。
見物…面白そうなものを見て楽しむこと。例 見物客
見学…実際に見て勉強や仕事の参考にすること。例 工場見学
見聞…見たり聞いたりすること。また、それによって得る知識。用例 見聞を広める。

▼見て考えたこと。見方。
意見…ある問題についての見方・考え方。用例 意見を求める。
卓見…すぐれた意見。
見解…ある物事に対する考え方や評価。

▼まみえる。人に会う。
謁見…身分の高い人に会うこと。例 謁見式

▼あらわれる。
露見…隠しておいた事があらわれること。

見視

視

【6年】 11画

音 シ

なりたち 神の意味のネ(しめすへん)と見との会意形声字。神を祭るときには儀式に手落ちがないように"注意深く"見るので、"注意深く見る"という意味を表した字。

いみとじゅくご

▼注意深く見る。
視察…実際にその場所に行って注意深く見ること。用例 現場を視察する。
注視…注意して見ること。
直視…目をそらさずに、まっすぐ見ること。
凝視…じっと見つめること。
視覚…物を見る感覚の働き。
視力…物を見る能力。用例 視力が落ちる。
視野…❶視力が及ぶ範囲。❷物事を観察したり、判断したりする能力が及ぶ範囲。用例 視野が広い人。

▼みなす。
敵視…敵と見なして憎むこと。
軽視…人や物事を軽く見て、ばかにすること。反 重視
よみかた 視界・視線・視点・遠視・近視・斜視・正視・透視・度外視・白眼視・無視